



新・変圧器で省エネシリーズ

新シリーズ
第7回



前は「日立配電・ユーティリティ監視システム「H-NET」を使用した、工場の省エネ診断について紹介しました。今回は、アモルファス変圧器を選定、導入するまでを見ていきましょう。

ステップ.1 工場の省エネ診断 H-NET導入→データ収集

ステップ.2 変圧器容量の適正化 ムダを発見→最適な設備に

前は、変圧器の使用実態をチェックして、変圧器の統廃合や低損失変圧器への更新、適正台数への更新について紹介しました。
今回は、最適なアモルファス変圧器の選び方について紹介します！

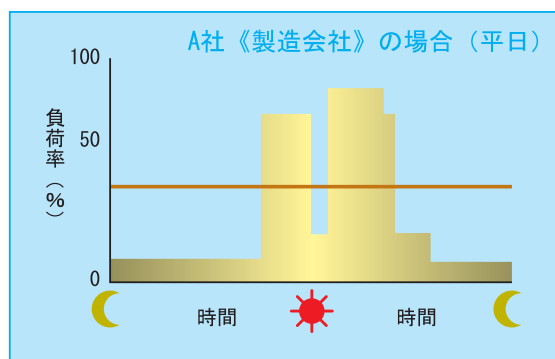


ステップ.3 アモルファス変圧器の導入！



まず現状の負荷率を見えます。
あるA社工場を例にとりて説明しましょう。
変圧器の実際の負荷は時間経過により複雑に変化するのですが、
右図のように階段状にならして分析します。

夜間はこの工場の稼働が無いので、
無負荷損(待機電力)が発生し、昼間は
負荷損と無負荷損の両方発生している
ことになります。



データで見ると
わかり易いですね

アモルファス変圧器は特に、稼働していない
時間帯の**無負荷損を大きく低減**できます。
業種により等価負荷率は異なりますので、
実際の使用状況を把握することが大切です。



ジェカ フェア
「JECA FAIR 2012～第60回電設工業展～」で
実際のアモルファス変圧器を見ていただくことができます。

■ 会期：2012年5月30日(水)～6月1日(金)

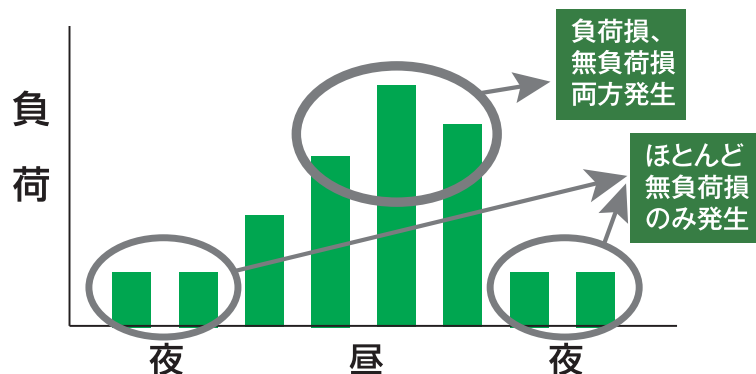
■ 時間：10:00～17:00 (初日は10:30開場、最終日は16:00閉場)

■ 会場：インテックス大阪4・5号館

■ HP：<http://jecafair.jp>

CASE 1

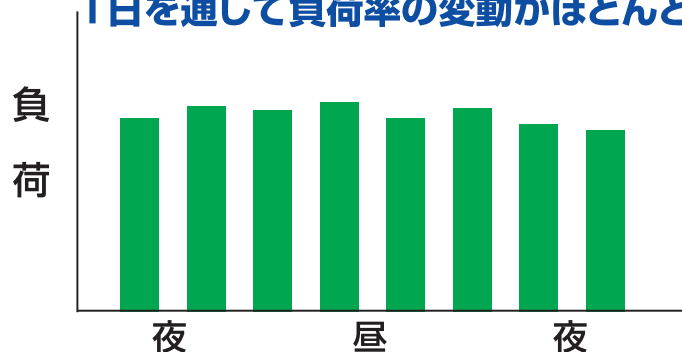
1日を通して、負荷率の変動が大きい場合(昼間は高負荷、夜間・休日は低い)



等価負荷率が低くなるので、
無負荷損の少ない変圧器を選定。

CASE 2

1日を通して負荷率の変動がほとんど無い場合



無負荷損、負荷損とも少ない変圧器を選定。



アモルファス変圧器を選びたいのですが?
どんな種類があるのでしょうか?

日立のアモルファス変圧器は下記のとおり
ラインアップしております。

当社ではお客さまの設備に合わせ、最適なアモルファス変圧器を
ご提案させていただきますので、ぜひお近くの営業までお問合せ下さい!



油入変圧器

SUPERX

SPシリーズ

とにかく省エネ性能を優先させたい方に、業界最高クラスの
省エネ変圧器をご提供いたします。

SHシリーズ

モデルチェンジをはかり、いっそう省エネ性と据付性の向上を
図りました。新たに75~200kVAの容量もラインアップし、充
実したシリーズです。

CIIシリーズ

シリーズの中でも小型化に重点が置かれたシリーズです。
キュービクルなどこれまで据付に困難であった場所への導入
の幅が広がりました。

モールド変圧器

SUPERX

MSシリーズ

絶縁油を使用しておらず、防災面で制限のある場所への設
置に適しています。モールド変圧器においてもアモルファスの
省エネ性能を発揮。省エネ機器の導入に最適です。

MCシリーズ

据付性を重視し、軽量化モデルとしてラインアップ。
容量も50kVAから2000kVAまで取りそろえております。



日立産機システム変圧器ホームページ

<http://www.hitachi-ies.co.jp/trans>